

しまね国際センター機関誌

2011 September

68

まいるすとんず

MILESTONES



しまねと世界をもっと近くに。

特集1

東日本大震災へのエール

特集2 しまね国際センターの

災害への取り組み

SICCレポート

国際交流団体等連携会議

東部コミュニティ通訳勉強会

しまね人権フェスティバル

くにびき奨学生

噂のパフォーマー

読者
プレゼント
付き!!

詳細は8ページをご覧ください。



www.sic-info.org



しまね国際センターの 災害への取り組み

●災害と外国人

東日本大震災をはじめ過去の災害で外国人住民も犠牲者となっています。

災害時には平時の問題がより大きく表われると言われます。例えば日常生活で日本語が理解しづらかったり、生活習慣が分かりにくかったりすると、災害時の緊急な情報が外国人住民にすぐに伝わらなかったり、生活習慣の違いから避難所での生活が分かりにくくトラブルが生じたりします。

また、外国人自身が災害についての経験や知識が少なく、「地震」がどういうものかわからない、避難訓練をしたことがないなどから、より被害が大きくなってしまいうこともあります。災害に備え、外国人自らの防災意識を高めてもらうことも必要です。

●センターの取り組み

このような災害時の問題を軽減するためにしまね国際センターでは、多言語での情報伝達や、多文化理解・日本人との接点をつくるためのサロンの開催、防災に関しては、多言語「防災ハンドブック」の配布や「防災訓練」、「災害時外国人サポーター養成研修」、「災害関係機関との連携作り」などを行っています。



防災訓練



災害時外国人サポーター養成研修

そして、大規模災害時には「多言語支援センター」を立ち上げ、関係機関とも連携をとりながら、災害時外国人サポーター等ボランティアの協力により多言語での災害情報を提供し、被災した外国人住民を主に言語面で支援します。

(右表参照)

information インフォメーション

その1

多言語メルマガ登録

イベント・生活情報、災害情報を直接携帯メールに送ります。

- ① 携帯から空メールを送信
 - ・中国語 chn@ifms.jp
 - ・タガログ語 tag@ifms.jp
 - ・英語 eng@ifms.jp
 - ・ポルトガル語 por@ifms.jp

- ② 返信メールの中のURLにアクセスして地域を選択

- ③ 登録完了



その2

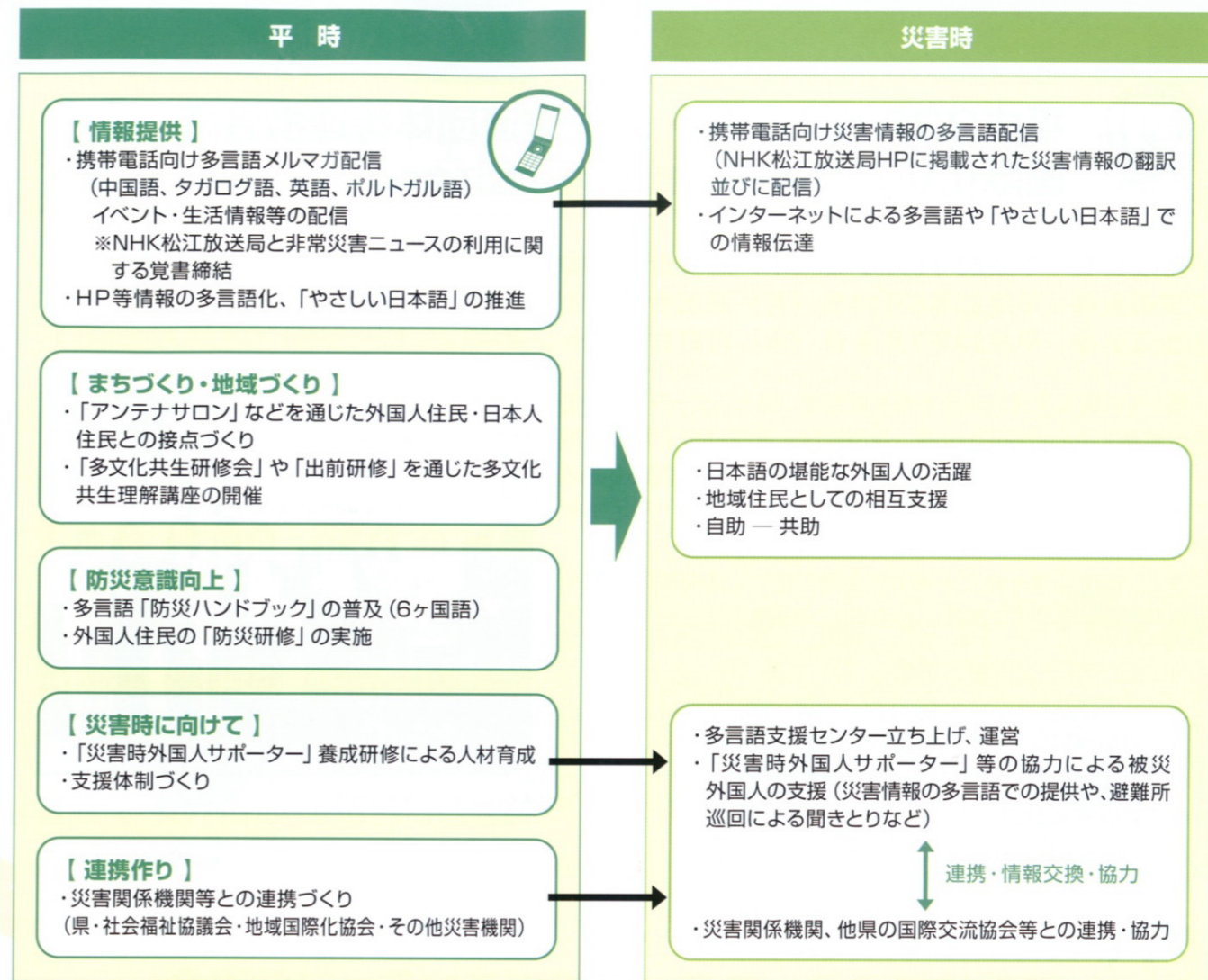
防災ハンドブック

(日本語、英語、中国語、ポルトガル語、韓国語、タガログ語)



しまね国際センターのHPに掲載中
<http://www.sic-info.org/disaster/>
ダウンロードして印刷できます。

ぜひ、日ごろからご活用ください！



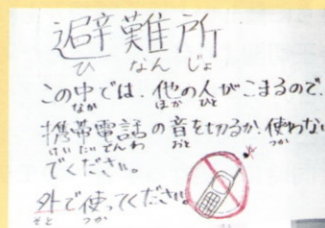
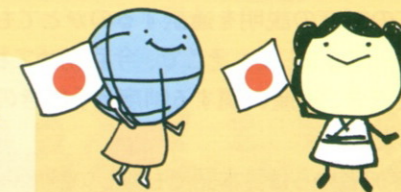
やさしい日本語 について

外国人への情報は、外国語への翻訳だけに限らず、日本語をわかりやすく言い換えることで、情報が伝わることもあります。これを「やさしい日本語」といい、この考え方は、阪神・淡路大震災をきっかけにはじまりました。漢字に振り仮名を打つ、簡単な単語に言い換える、日本独特の考え方を文化的に理解できるように「文化翻訳」をして伝える、などです。「やさしい日本語」には答えがなく、相手によって単語や表現を変えても構いません。伝わる工夫が大事です。

例えば…

「台風の影響で、松江～浜田間はJR山陰本線は現在不通になっています」

「台風が来ています。松江と浜田の間は、今JRは動いていません」



「やさしい日本語」への「翻訳」(言い換え)は、外国語翻訳者がいなくてもできます。緊急に情報を伝えたいといけないうきに役立つことが期待されます。昨年度は、「やさしい日本語」の講座も開催しました。子どもや高齢者にもわかりやすい「やさしい日本語」、日頃からの取り組みが、いざというときに活きています。